

2025年10月27日

福知山市花火大会経済波及効果等に関する調査報告書

1 はじめに

本調査は、福知山 HANABI2025（以下、「花火大会」）の実施により得られた産業・観光等の様々な分野における経済波及効果等について、アンケートと産業連関分析を通じて、その計量的な効果測定を試みるものである。

なお、今回は観覧者数（20,000人）の消費額および実行委員会の支出に関する需要に限定して測定を行った。

2 経済波及効果の推計

（1）観覧者数の内訳推計

花火大会当日に観覧者に対して実施したWebアンケート（回答数：142人）に基づき、観覧者の福知山市内外別人数、日帰り・宿泊別人数を下記のとおり算出した。

項目	割合
福知山市内	62.6%
福知山市外	37.4%
京都府内	12.2%
他都道府県	25.2%

項目	人数
福知山市内	12,518人
福知山市外	7,482人
京都府内	2,446人
他都道府県	5,036人

項目	割合
日帰り	78.1%
宿泊	21.9%
福知山市内（家族・友人宅）	14.9%
福知山市内（宿泊施設）	7.0%
福知山市外に宿泊	0.0%

項目	人数
日帰り	15,625人
宿泊	4,375人
福知山市内（家族・友人宅）	2,969人
福知山市内（宿泊施設）	1,406人
福知山市外に宿泊	0人

(2) 一人あたり観光消費額

花火大会の観覧者に対して実施した、飲食・土産・宿泊に関する紙ベースのアンケート（回答数：30人）に基づき、一人あたり観光消費額については次のとおりと仮定する。なお、交通費については、JRの1区間分圏内は電車で来場し、それ以上の距離がある場合は車で来場したものと仮定した。

なお、算出にあたっては、有料観覧席のチケット代は含んでいない。

	飲食費	土産費	宿泊費	交通費
日帰り	2,050円	750円	—	380円
宿泊	5,000円	1,500円	7,500円	380円

(3) 経済波及効果の推計

前頁の1人あたり観光消費額を基に「福知山市産業連関表」を使用して、経済波及効果を算出した結果、次のとおりとなった。

① 観覧者の経済波及効果の推計

(単位：百万円)

項目	経済波及効果
総合効果	59.2
直接効果	41.4
1次波及効果	10.9
2次波及効果	6.9

② 実行委員会の支出による経済波及効果の推計

(単位：百万円)

項目	経済波及効果
総合効果	49.3
直接効果	34.9
1次波及効果	6.8
2次波及効果	7.6

③ 花火大会の経済波及効果の推計

以上により、観覧者の経済波及効果 59.2 百万円、実行委員会の支出による経済波及効果は 49.3 百万円と推計され、花火大会の経済波及効果としては、108.5 百万円と推計された。

(単位：百万円)

項目	経済波及効果
総合効果	108.5
直接効果	76.3
1次波及効果	17.7
2次波及効果	14.5

(4) 花火大会の規模が拡大された場合の経済波及効果について

今後、花火大会の規模を拡大して開催した場合の経済波及効果の推計を行った。

観覧者を 40,000 人に設定するとともに、前頁の 1 人あたり観光消費額を基に経済波及効果を算出した結果、次のとおりとなった。

なお、宿泊比率は今年の観覧者アンケート（交通手段と日帰り・宿泊の両方の設問に回答した人を対象）の結果に基づき、「7.2%」と設定した。

(単位：百万円)

項目	経済波及効果
総合効果	216.9
直接効果	152.4
1次波及効果	35.4
2次波及効果	29.1

以上により、観覧者ならびに実行委員会の支出による経済波及効果は 216.9 百万円と推計された。

-
- 注1. 直接効果：観覧者による観光消費額のうち、福知山市内に対する生産増加分
(市内自給率を考慮して推計)
 - 注2. 1 次波及効果：直接効果により、福知山市内の産業にもたらされる生産増加分
 - 注3. 2 次波及効果：直接効果および 1 次波及効果により生じた雇用者所得の増加分
が消費に向けられることでもたらされる生産増加分